

2 階  
テーマ5

# 現代の神奈川と伝統文化

てんじしつ  
展示室のいちばん奥に、おく 関東大震災のあとの横浜を写した写真があるぞ。たいへんじゃ。なんと一面の焼け野原やのほらじゃのう。写真の中で、神奈川県立歴史博物館の建物はみつかるかのう？  
そのころは横浜正金銀行よこはましょうきんぎんこうの建物だったそうじゃ。



みつかったら○ →



たしかこのへんにあるはずじゃ。



日本が第二次世界大戦でアメリカ、イギリス、中国などと戦争をしていた時代の展示があるぞ。アメリカの飛行機が爆弾を落として、横浜の街もふたたび焼け野原じゃ。そのころの人たちは、どのようにして空襲くうしゅうにそなえたかのう？  
展示を見てわかることを書くのじゃ。



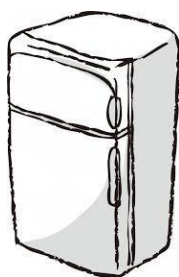
どのように空襲にそなえたか

1960年代になると、日本は工業を中心<sup>こうぎょう</sup>に急速<sup>きゅうそく</sup>に発展したのじゃ。電気製品<sup>でんきせいひん</sup>も家庭に広まったぞ。そのころ、「三種の神器」などと言われた電気製品のひとつが展示室にあるのじゃが、わかるかな？ その電気製品は、今みんなの家で使っているものと比べてどこが違<sup>ちが</sup>うかの？



“三種の神器”といわれた電気製品

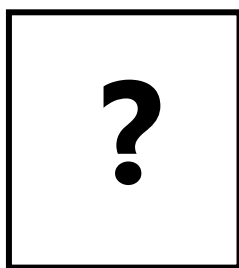
答え



電気冷蔵庫



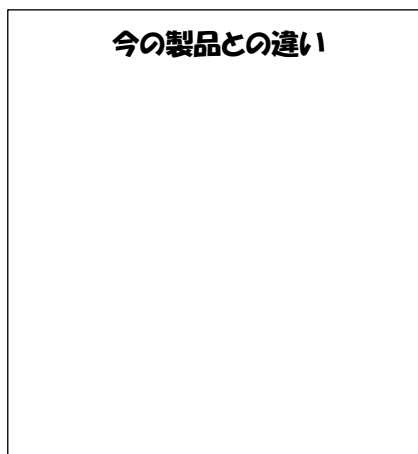
電気洗濯機



展示されている  
電気製品



.....

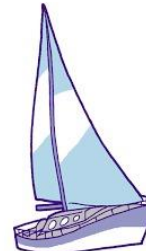


1964(昭和39)年に東京オリンピックが開かれたぞ。そのとき神奈川県で行われた競技<sup>きょうぎ</sup>があるのじゃが、それはサッカー、バレーボール、カヌーともう一つは何かの。



答え

.....



これらは、昔から村境<sup>むらざかい</sup>にまつられていたものじゃ。これらの役割はなにかの？

